

(1) 2013年度 事業計画

1) 第56回定時総会

- ・2013年6月12日(水) 東京工業大学すずかけホールにて第56回定時総会を開催する。(同ホールで開催されるICJ2013の初日)

2) 出版関係

①日本画像学会誌：2013年度分6冊を発行する。

- ・2012年度と同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。

②技術用語集改訂版：2013年4月にweb公開を予定。製本版の出版は2013年9月の予定。

③50周年記念出版の増補として先の4冊に加え、「有機エレクトロニクス」、「インクジェット応用」の2冊を当初より遅れているが2013年度中に出版する予定。

3) Imaging Conference JAPAN 2013 (ICJ2013)

- ・Imaging Conference JAPAN 2013 (日本画像学会年次大会 (通算第111回) を2013年6月12日(水)、13日(木)、14日(金)にて横浜市緑区長津田東京工業大学すずかけ台キャンパスにて開催する。

(企画・運営：本学会全体、幹事会社：株式会社リコー)

4) Imaging Conference JAPAN 2013 Fall

- ・Imaging Conference JAPAN 2013 Fall (第110回日本画像学会研究討論会) を2013年11月22日(金) ハートピア京都にて開催する。(企画・運営：関西委員会)

5) シンポジウム (年間2回)

- ・関西シンポジウム：2013年5月17日(金) ハートピア京都にて開催する。(企画・運営：関西委員会)

- ・東京シンポジウム：2012年12月6日(金) 東京 発明会館で開催予定 (企画・運営：電子写真技術部会)

6) 技術講習会

- ・第75回技術講習会：2013年7月11日(木) - 12日(金) 一橋記念講堂にて開催する。

(企画・運営：事業委員会)

- ・第76回技術講習会：2013年11月21日(木) ハートピア京都にて開催する (企画・運営：関西委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today”

- ・学会誌 Imaging Today の執筆者を講師として気軽なトーキングの会を2013年中に2回程度開催予定。

- ・第23回フリートーキング：2013年4月26日 東工大すずかけ台キャンパス

- ・第24回フリートーキング：10月 (企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・技術委員会の部会毎に研究会を開催予定。現時点で開催が決定しているものは次のとおりである。

- ・インクジェット技術研究会：9月20日(金) ・トナー技術研究会：10月11日(金)

- ・画像処理技術部会：12月(画像4学会研究会) ・電子ペーパー：10月22日(火)

- ・サーマル記録技術研究会：14年1~3月 ・シミュレーション技術：6月ICJ2013にてWS開催

9) イメージングカフェ

- ・平日夕方の時間帯で仕事帰りに気軽に立ち寄り最新技術、昔話、他分野情報、専門知識などのテーマで講師からの話を聞き、意見交換ができる交流空間を昨年度に引き続き月1回開催の予定。13年度も東京以外に関西地区での開催を予定。開催要項案は以下の通り。
- ・開催日・時間：水曜日または金曜日、18:30～20:30 ・会場：恵比寿カルフル
- ・参加資格：原則として日本画像学会個人会員。1週間前に空席がある場合は個人会員外（非学会員も含む）の参加を受け付ける

10) 関連学会との交流

- ・日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会、画像電子学会の4学会で画像関連科学の深化と展開、及び各学会の継続的かつ発展的な活動を行うための基盤の構築を目的とした「画像4学会連合会（仮称）」を発足させる。具体的な活動例としては、年次大会の共同開催のほか、特に互いの学会の境界領域、新規領域に注目した研究会やシンポジウムの共催や共同運営、チュートリアル・勉強会の共同開催、アジアを発信源とする画像関連技術の新国際会議の定期開催 等がある。このための準備委員会を13年4月に立ち上げ、4学会での具体化の検討に入る。
- ・上記画像4学会での合同研究会は例年とおり2013年12月に開催する予定。
- ・米国画像学会 IS&T が開催する研究会 NIP29・DF2013（2013年9月29日～10月3日）、及びこれらの準備会議に協力する。
- ・国際交流委員会が仲介となり、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。

(3) 2013年度 予算案

2013年度 日本画像学会収支予算案

自 2013年4月1日 至 2014年3月31日

科目	2013年度当初予算	2012年度当初予算	増減	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
正会員会費収入	8,000,000	8,000,000	0	
維持会員会費収入	13,000,000	13,400,000	-400,000	
事業収入			0	
研討・研究会参加費	10,000,000	10,000,000	0	
講習会参加費	3,700,000	4,500,000	-800,000	2011年度並みの参加者を確保
試験標準品頒布収入	6,500,000	4,500,000	2,000,000	過去3年間の実績から
予稿集・技術資料頒布収入	300,000	300,000	0	
出版物頒布収入	1,000,000	1,000,000	0	新規出版収入74万円
会誌購読・BN頒布収入	1,100,000	1,100,000	0	
広告収入	1,100,000	1,100,000	0	
雑収入	20,000	20,000	0	
受取利息収入	20,000	20,000	0	
寄付金収入	-	-		
事業活動収入計	44,740,000	43,940,000	800,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
会誌発行費	9,000,000	9,000,000	0	
研討・研究会開催費	8,000,000	7,700,000	300,000	2012年度実績反映と15年度国際学会準備のため
講習会開催費	3,000,000	3,000,000	0	
試験標準品作製費	4,000,000	2,500,000	1,500,000	過去3年間の実績から
出版物作製費	2,500,000	2,500,000	0	用語集改訂, 新規出版240万円
デジタル化費	950,000	950,000	0	
学会賞費	450,000	450,000	0	
諸委員会費	2,000,000	2,000,000	0	
理事会・評議員会・総会費	1,900,000	2,100,000	-200,000	費用削減
国際学会準備費	0	1,000,000	-1,000,000	欄外の 参照
管理費支出			0	
通信・運搬費	500,000	500,000	0	
事務費	1,850,000	1,750,000	100,000	学会誌などをバインドする初期費用増
事務員費	10,600,000	10,000,000	600,000	15年度国際学会準備のため
事務機械化費	300,000	300,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
租税公課	400,000	400,000	0	消費税として
管理諸費	60,000	60,000	0	
法人税等	200,000	600,000	-400,000	2012年度実績で見直し
事業活動支出計	45,810,000	44,910,000	900,000	
事業活動収支差額	-1,070,000	-970,000	-100,000	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
器具備品取得支出				
器具備品購入支出	300,000	600,000	-300,000	昨年はMFP購入で1次的増
ソフトウェア取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	300,000	600,000	-300,000	
投資活動収支差額	-300,000	-600,000	300,000	
財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入				
他会計振替収入	2,500,000	2,500,000	0	用語集、国際学会準備の費用として特定資産取崩し
財務活動収入計	2,500,000	2,500,000	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	2,500,000	2,500,000	0	
予備費支出	200,000	200,000	0	
当期収支差額	930,000	730,000	200,000	
前期繰越収支差額	16,684,181	15,774,227		
次期繰越収支差額	17,614,181	16,504,227		

2013年度は国際学会準備費として1,000,000円を研討・研究会開催費(400,000円)と事務員費(600,000円)に組み込み